

ターゲット・バードゴルフ

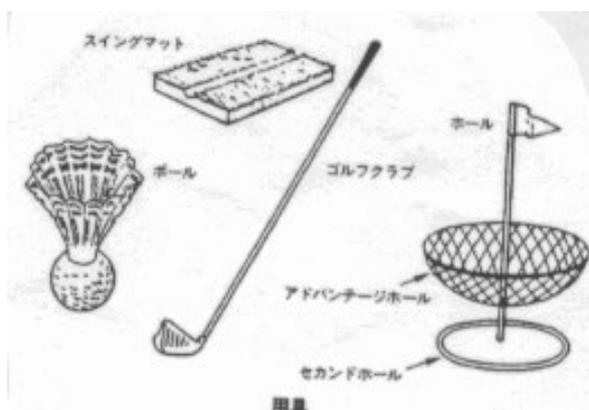
場 所	人 数
屋 外	個人（団体）

◇ ターゲットバードゴルフをする前に

バドミントンの羽を中空のゴルフボールにつけたシャトルボールをゴルフクラブで打つ、ゴルフをミニ化した競技です。第1競技には、各ホールごとに勝負を決めるマッチプレイと、18ホールを最小打数でプレイしたものが優勝者とするストロークプレイがあります。また、ティーショットから18m先のカップを目指して打つ第2競技があります

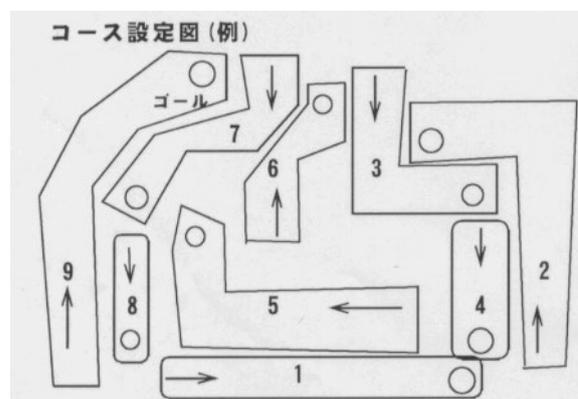
用 具

- ・ボール…シャトルボール(羽根つきボール)
- ・クラブ…ゴルフクラブ(PW等)
- ・スイングマット…ゴルフ用人工芝
- ・ホール…アドバンテージホールはステンレス枠(110cm)にネット張りセカンドホールは合成樹脂製
- ・その他…スコアカード、鉛筆、石灰 OBの境界を示す細ひも



場所・コート

コースは地形の起伏、池、林、バンカー、ウォーターハザードなどを加味して設定。公園やグラウンドでも可。普通ウェッジコースの場合はショートホール(パー2、約16m~22m)、ミドルホール(パー3、約32m~45m)、ロングホール(パー4、約50m~60m)の3種類を組み合わせ、1ラウンドを18ホール、パー54を目安に設定する。



ゲームの進め方(第1競技)

- (1) スタートのティーショットは、じゃんけんなどで順番を決める。
- (2) インプレイのとき、ホールから最も遠いボールを先にプレイする。
- (3) 2ホール目以降のティーショットの順番は、前のホールで最も少ないスコアのプレイヤーからプレイする、以下順番にプレイする。

ルール（第1競技）

(1) ストローク

- ・ボールを打つ意志でクラブを振れば、空振りでも1ストロークと数える。
- ・1ストローク中に、2回以上ボールに当たったときは、2打として数える。

(2) ホールイン

ボールの球状部分が、ホールの内側に停止したときホールインという。セカンドホールにホールインした場合は、打ったショットの数+1打で計算する。

(3) アウト・オブ・バウンズ(OB)

- ・ボールの球状部分が、OBの境界線に少しでもかかればセーフ。
- ・ボールがOBとなった場合は、1打付加して、そのボールを最後にプレイした地点にできるだけ近い境界線内から、次のストロークを行う。

(4) プレース

スイングマットを使用する場合は、ボールの真後ろにマットを置き、ボールを拾い上げてマットの最前方にボールを置く。

(5) リプレース

ボール識別のため、他のプレイヤーの妨害となるためなどの理由でリプレースすべきボールを拾い上げるときは、マーカーでマークする。

勝負の判定（第1競技）

(1) マッチプレイは、各ホールごとにストローク数によって勝敗を決める。

(2) ストロークプレイは、正規のラウンドを正しい順序でプレイし、最小打数でプレイした者が勝者となる。

ちょっとひとこと

◎第2競技の進め方

①チームの構成

チームリーダー1名、競技者2名以上の計4名以下とする。

②競技方法

- ・2チーム以上6チーム以内を1ブロックとし、原則として9回戦行うが、時間の都合で回数を減らすことができる。
- ・各チームのリーダーは、自チーム以外の競技運営にあたり、得点審判を行う。

③得点ならびに順位の設定

- ・各チームの1競技者は、各回戦ごとにあらかじめ決定した数発(5発前後)のショットをすることができる。
 - ・ライン上にあるボールの得点は、シャトル(羽根)の向いている側の点数とする。
 - ・得点 A100点(直径約18cm)、B50点(直径約45cm)、C30点(直径約100cm)、D10点(直径約160cm)
- 《「日本ターゲット・バードゴルフ競技規則」より》

